

役員・支部長会議議事録

開催日：2025年5月24日（土） 13:00～16:00

場所：東京都品川区大崎1-11-1

東京都南部労政会館第三会議室

会議体：対面及び ZOOM 会議併用

司会：山崎理事

議事録作成：森川理事

(1). 大野理事長の開会挨拶に引き続き山崎理事により出席者が紹介された。

出席者 (敬称略)

： 山崎敏憲理事兼関東甲信越支部長
齋藤隆夫理事兼東海支部長
有馬守彦関西支部長
北川博敏北海道支部長
早瀬雅敏理事会員部会長
朝永清寿理事兼九州支部長
小林邦彦理事会員部会
吉田成吉 オブザーバー
守田章相談役
阿部滋敏監事
居島勉理事 経理委員会
森川建理事支部推進委員

(ZOOM) 氏家孝東北支部長

(ZOOM) 細田良子理事

(ZOOM) 藤本晴彦ダバオ支部長

(ZOOM) 外池一子ハワイ支部長

(ZOOM) 川上セブ支部長代行

(1-2) 大野支部長による令和7年度事業方針と南の会の現状報告

昨年度25周年の記念事業を終え、今年度は特に大きなイベントの計画はない。

ロングステイ関係団体は会員減の状況であるが、我が会は一定程度の会員数を保持し、引き続きサロン会、この指とまれ企画、海外ステイ等活発化させたい。

(2) 各支部の現状と会計報告（議長を森川理事に交替）

(2-1) 会計報告は予め各支部より提示を受けており、特に疑問点、指摘事項なく各支部の会計報告は本議事録に添付掲載する。

(2-2) 活動報告

各支部の活動報告は会報に掲載されており、各支部からは掲載事項の要点を報告本議事録では記載事項以外及び特記事項のみ記載する。

① 北海道支部

— 25周年記念講演会

- ・北海道新聞、地方新聞への告知効果あり、42名参加（内6名入会）
本年も実施予定。
- ・入会者あれば@3,000円程度の支援を要請

② 東北支部（後日報告在り）

情報交換会を都合6回開催、主にチェンマイ滞在に関し情報交換。

③ 関東甲信越

- ・昨年度は25周年記念事業がメイン。
- ・LS財団フェア参加27～8の回答在り。唯一の加入手段として活用したい。
- ・海外この指とまれ企画は実施したい。（あくまで会員各自の自己責任）

④ 東海支部

23～24年女性会員入会。九州支部を手本として、家族会員を増加させ、活動したい。

⑤ 関西支部

- ・会場費高騰に苦慮
- ・役員不足問題（現在3名体制）
- ・ZOOMによる交流会が有効。
- ・会員が所属する他の団体での会員勧誘（ゲスト参加推進したい）
- ・各国観光局との連携、講演実施＝例会の中身の充実
- ・NPO法人支援センター活用の検討

⑥ 九州支部

- ・ZOOMを活用（25周年事業含め）
- ・地域が広いが各地でサロン会実施。
- ・夫婦参加が多い
- ・海外この指とまれ企画（ベトナム？）

⑦ セブ支部

滞在者は一人、訪問者も3人程度で会員確保に苦慮。

本部との連携を検討

⑧ ダバオ支部

ユーチューブ活用を提案。

活用法を検討。

- ⑨ 外池支部長より近年ハワイ訪問、滞在者が減少し、支部活動、支部支援金の使途もなく、ご本人の滞在期間も6か月とすることより、支援金の返還、支部長退任の申し出があった。

これに対し、外池支部長の現地報告、アドバイスは会員にとって大変興味深く、貴重な情報であること並びに海外支部の存在は南国暮らしの会にとって他にない大事な資産、機能であり、ハワイ、ダバオ、ペナン、セブの支部の継続を強く望む声大きい。それに加え、海外支部は支部長単独ですべて支えていただいております、支部支援金の会計報告、並びに活動報告は他の国内支部とは異なる扱いで、あえて求める必要無いとの意見が提示された。

本件理事会に諮り、結論を得ることとなった。

外池支部長には、ご苦勞をおかけしますが、引き続き、支部長として、ハワイの情報提供、訪問者への問い合わせ対応等無理のない範囲での継続の同意を得た。

(3) 支部活動の活性化（会員減少対策、役員後継者問題等）

会員部会より 5/22現在の在籍会員、未納者 数の報告あり

在籍会員		未納者
海外	11	3
関西	58	8
関東	125	18
九州	28	2
東海	20	1
東北	2	2
北海道	24	7

未納者リスト再送されるが未納者に対する、扱い、督促は支部長に一任するが極力遺留に努める。

(3-1) NPO 法人

* NPO 法人登録の返上

(デメリット)

- NPO 法に縛られ大変な業務に縛られ又余分な手間、理事の負担が生じており NPO であるメリットは殆どない。

(メリット)

- NPO 法人（国に認められ、監視下にある組織）の信用
- 官公庁、LS 財団からの信用、信頼
- NPO 法人支援センター等の活用
- NPO 返上に関わる手間、業務、社内外の調整及び苦勞をして取得した法人資格を簡単に手放すべきではないとの意見もあり、目下のところ現状を維持し引き続き検討を進める。

* 業務の簡素化

—会報の簡略化

電子版のみ HP に掲載し、印刷製本、発送を止める。

製本された会報を楽しみにしている会員も存在し、本件引き続き検討。

—総会での委任状はがき廃止

電子委任の方法、メール対応できない会員対策等細部の煮詰めが必要

—本部（特に会員部会）の業務を支部に分散

会員把握、入会費、年会費管理等を支部で実施するマンパワー、機能なく支部への分散化は非現実的。

—会員名簿廃止

廃止による問題、抵抗は殆どない。

* その他要望

—「Long Stay」で検索しても「南国暮らしの会」にアクセス、ヒットしない。
何らかの工夫、対策を要請。

—支部単位で海外この指とまれ企画を実施した場合、人数が確保できず、
他支部参加可能な企画の検討を要請。（実施支部には最低限の負荷、自己責任
の徹底を考慮に入れ実現策を検討依頼）

令和 6 年 5 月 24 日

NPO 法人南国暮らしの会

議長

森川 建